

事業の趣旨・目的

産業や社会構造の変化が加速し多様化する中、産業界のニーズを踏まえた質の高い専門人材育成への迅速かつ的確な対応が求められており、教育界と産業界とが連携した専門的で実践的な教育システムの構築が必要となっている。

また、若年層の雇用ミスマッチが指摘されており、早期離職する若者や職業が定まらない若者が増加している状況にあり、日本の中長期的な競争力・生産性の低下を招く要因として懸念されるなど、学校から職場への円滑な移行が課題となっている。

これらの社会的な要請や課題に応え、理論と実践力を備えた職業人を育成するには、企業内実習(インターンシップ)等を核とした「デュアル教育」の体系化が求められている。

本校では、H13年度文科省事業「産学連携による専修学校高度職業人育成総合プロジェクト」の受託を契機に15年間にわたり産官学連携インターシップの実施と改善・充実を図ってきた。H26年度には「職業実践専門課程」の認定を受けている。

本事業では事業の趣旨を踏まえ、本校におけるこれまでの取組みの成果を評価・検証した上で、長期企業内実習等の新たな教育手法の開発と企業との連携方法について実効的ガイドラインを作成する。